

避難拠点訓練等事例集

(避難拠点運営連絡会交流会資料)

平成 31 年 3 月
練馬区区民防災課

目 次

	ページ
・大泉小学校避難拠点運営連絡会 （聴覚障害者協会・大泉小・中学校避難拠点合同訓練）	・・・ 1
・大泉第二小学校避難拠点運営連絡会 （避難拠点サポーター制度の開始）	・・・ 2
・大泉第六小学校避難拠点運営連絡会 （獣医師によるペット避難講習）	・・・ 3
・大泉西小学校避難拠点運営連絡会 （独自避難拠点開設キットの作成・検証訓練）	・・・ 4
・大泉西中学校避難拠点運営連絡会 （独自避難拠点開設キットの作成・検証訓練） （医療救護所訓練と避難拠点開設訓練の同時開催）	・・・ 5
・開進第四中学校避難拠点運営連絡会 （夜間地域連携防災訓練）	・・・ 6
・上石神井中学校避難拠点運営連絡会 （段ボールベッド・間仕切りの自作）	・・・ 7
・北原小学校避難拠点運営連絡会 （子供から大人まで楽しめる訓練）	・・・ 8
・関町小学校避難拠点運営連絡会 （防災体験学習会）	・・・ 9
・田柄小学校避難拠点運営連絡会 （昼間・夜間開設訓練）	・・・ 11
・貫井中学校避難拠点運営連絡会 （宿泊訓練）	・・・ 12
・練馬中学校避難拠点運営連絡会 （夜間訓練）	・・・ 14
・練馬中学校避難拠点運営連絡会・高松小学校避難拠点運営連絡会 （福祉避難所搬送訓練）	・・・ 16
・光が丘夏の雲小学校避難拠点運営連絡会 （宿泊訓練）	・・・ 18
・光が丘夏の雲小学校避難拠点運営連絡会 （設備防災協力会訓練）	・・・ 20
・光が丘第一中学校避難拠点運営連絡会 （近隣防災会と協力した避難者受け入れ訓練）	・・・ 21
・光が丘第三中学校避難拠点運営連絡会 （夜間訓練）	・・・ 22

・光が丘春の風小学校・光が丘第二中学校避難拠点運営連絡会 （防災体験会）	・・・・・・・・	24
・豊溪小学校避難拠点運営連絡会 （ペット同行避難訓練）	・・・・・・・・	25
・南町小学校防災委員会 （救援物資受け入れ訓練）	・・・・・・・・	27
・八坂小学校避難拠点運営連絡会・八坂中学校避難拠点運営連絡会 （複数拠点の連絡会が参加する HUG 訓練）	・・・・・・・・	28

この避難拠点訓練等事例集は、避難拠点での活動内容をご検討いただく際にも参考としてお使いいただけるようまとめてあります。

ぜひご活用ください。

大泉小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

聴覚障害者協会・大泉小・中学校避難拠点合同訓練

<内容>

聴覚障害のある方と、健常者でペアを組み、筆談にてコミュニケーションをとりながら、防災訓練を行いました。

防災訓練内容は、AED、けむりハウス、ジェスチャーゲーム、起震車体験の4つを行いました。その他に聴覚障害者による被災体験講話も行いました。

<スケジュール>

- 8:30 集合・準備
- 9:30 挨拶・講話
- 10:00 訓練開始
- 11:30 訓練終了
- 11:30 講評・意見交換
- 12:00 片付け・撤収

<訓練対象者>

聴覚障害者協会、避難拠点運営連絡会、一般参加者、区避難拠点要員

<事前準備>

- 区への起震車依頼
- 消防署へのAED、けむりハウス依頼
- 聴覚障害者協会との訓練内容検討
- 要約筆記者の派遣依頼

<訓練の協力先>

区民防災課、練馬区聴覚障害者協会

<訓練の成果・課題>

- ・聴覚障害のある方とのコミュニケーションをとる方法が、筆談しかない中訓練を重ねた結果、円滑にコミュニケーションをとることに成功しました。
- ・夜間などの暗い中、筆談でのコミュニケーションが取れない、という課題がでました。その課題を解決するために障害のある方々、避難拠点運営側もペンライトや小さい光源を普段から準備することとしました。

大泉第二小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

避難拠点サポーター制度の開始

<内容>

区の避難拠点要員や運営連絡会の他に、大地震発生時に避難拠点の運営を手伝っていただける方としては、「練馬区災害ボランティア」の登録者などがいますが、大二小拠点では「避難拠点サポーター」として、平成30年度から拠点独自で募集を行いました。

<サポーターの活動内容>

拠点開設時の作業手伝い、平常時の訓練・会議への参加

<募集（周知）方法>

避難拠点運営連絡会HP、大二小拠点ニュース（町会回覧・学校配付）ほか

<訓練の成果・課題>

平成31年2月現在で12名の登録があり、登録者には拠点の活動状況を随時発信しています。一部の方は秋の拠点訓練や地区祭（サバ飯講座）にも参加するなど、サポーターが活動に定着する様子も見え始めています。

大二小避難拠点ニュース

平成30年6月号

避難拠点サポーター大募集！

避難拠点活動のサポーターを募っています！！
この活動は役員で運営されますが、それではマンパワーが足りません。
いざという時に是非、サポーターとして力を貸して頂けませんか。


避難拠点サポーター（略称：拠点サポ）のQ&A

Q:どんな人ができるの？
A:対象は中学生からお元気な高齢者です。

Q:なにをするの？
A: 大きな地震が発生したときに開設される大二小避難拠点に駆けつけて拠点の作業を手伝っていただきます。
このお手伝いだけで十分ですが、地震発生に備えた日頃の活動のサポート、例えば9月2日(日)【予定】の防災訓練にも来てくれたら有難いです。さらに、役員会議にも参加して頂けたら感激です。


Q:拠点サポをやってみようかなと思ったなら？
A:下記にご連絡ください。

申込先:大二小避難拠点運営連絡会 庶務部長




大二小避難拠点運営連絡会とは

震度6以上の地震が発生した場合に大二小に開設する避難拠点の運営に協力する組織。地域住民等で構成されています。なお、開設は区の職員が行うので、学校職員とともに協力します。



HP→



大二小避難拠点運営連絡会 発行

大泉第六小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

獣医師によるペット避難講習

<内容>

大泉第六小では校庭のジャングルジムをペットのケージ置き場としており、これまでも拠点訓練の一部として、実際にペットを連れて避難するペット同行避難訓練を実施してきました。今年度はさらに、拠点近くにある佐伯獣医科病院の協力のもと、実際にペットを連れてきた方に獣医師から助言を行いました。

<スケジュール>

- 8:00 運営者集合・設営開始
- 10:00 開会式終了後、各ブースでの訓練開始
- 11:20 各ブースでの訓練終了
- 11:30 閉会式・撤収

<訓練対象者>

避難拠点訓練参加者（主にペットを連れてきた参加者）

<事前準備>

獣医科病院への依頼・調整、受講希望者の募集

<訓練の協力先>

佐伯獣医科病院、生活衛生課（ペット担当部署）

<訓練の成果・課題>

参加者は、避難拠点でのペットの扱いはもちろん、家庭での日頃からの対策について具体的・実用的な知識を得ることができたと思われます。ペットを飼っていない住民へ避難拠点でのペット対応について周知することなどは今後の課題と考えます。



ブースの様子



ケージ置き場の様子

大泉西小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

独自避難拠点開設キットの作成・検証訓練

<内容>

既存の開設キットのアクションカードに新たな項目を追加したり、カードの順番を入れ替えるなど、大西小避難拠点の開設マニュアルに合わせて、独自のアクションカードを作成しました。独自のアクションカードを使って、避難拠点開設訓練を実施しました。

<訓練対象者>

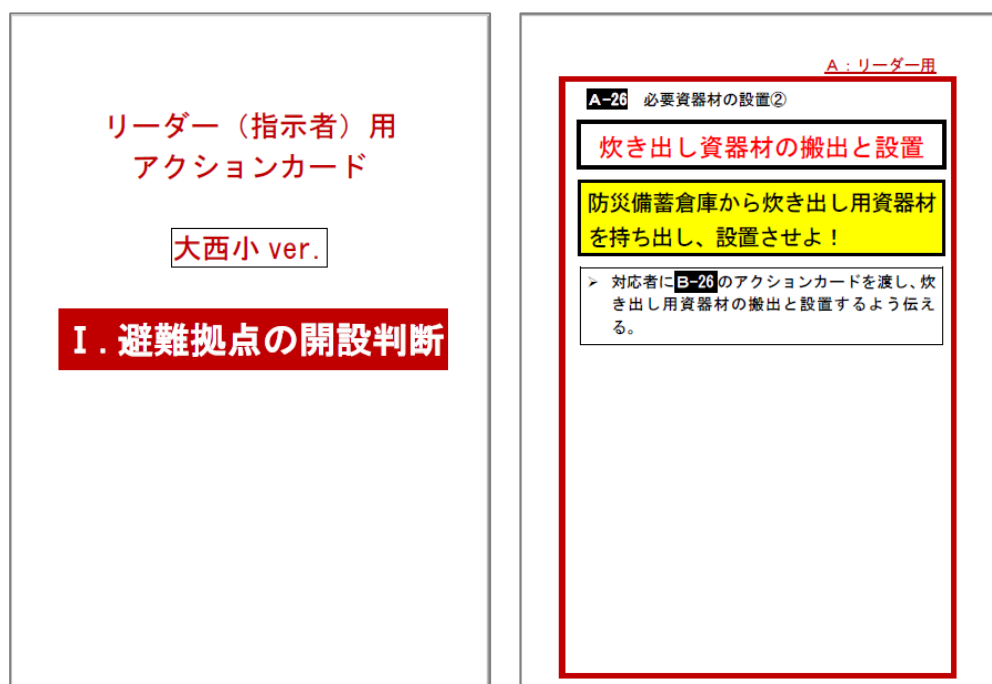
避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<事前準備>

独自開設キットの作成

<訓練の成果・課題>

元々作成していた大西小避難拠点の開設マニュアルに合わせて、アクションカードを作り直したことで、マニュアルで決まっていた手順が、より分かりやすくなりました。より実践的な訓練ができました。



大泉西中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

独自避難拠点開設キットの作成・検証訓練

<内容>

既存の開設キットのアクションカードに新たな項目を追加したり、カードの順番を入れ替えるなど、大西中避難拠点の開設マニュアルに合わせて、独自のアクションカードを作成しました。独自のアクションカードを使って、避難拠点開設訓練を実施しました。

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<事前準備>

独自開設キットの作成

医療救護所訓練と避難拠点開設訓練の同時開催

<内容>

医療救護所訓練に合わせて、避難拠点の受付訓練を同時に開催しました。

傷病者の対応のほかに、避難者と傷病者を振り分ける役割を設けたり、避難者の受付や誘導を行ったりしました。

<訓練参加者>

避難拠点運営連絡会、近隣避難拠点関係者、近隣町会、地域の医療職、医療救護所従事スタッフ・登録看護師、災害時医療機関、協定協力事業者、大泉西中学校、区避難拠点要員、学校避難拠点要員、一般参加者

<訓練の協力先>

地域医療課 区民防災課

<訓練の成果・課題>

避難拠点運営連絡会と区要員が避難者と傷病者の対応を並行して行うことの難しさを認識することができ、運営や対応に係る課題の洗い出しに繋がる訓練でありました。



開進第四中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

夜間地域連携防災訓練

<内容>

避難拠点運営連絡会と中学生が協力して避難拠点の立ち上げ・避難者の受入れ、避難生活の体験等を行いました。避難拠点の開設訓練に中学生が参加することで災害時にも協力し合える体制を目指しています。また、夜間に実施することで避難拠点での宿泊体験してもらうことも目的としています。

<スケジュール>

- 15:00 連絡会集合・訓練開始（避難拠点開設準備～開設）
- 15:45 中学生集合
- 16:00 一般参加者受付開始（避難者役）
- 16:40 一般参加者向け挨拶・訓練説明・訓練開始
- 18:00 配食・食事
- 18:30 宿泊体験・講評等
- 19:00 訓練終了
- 19:30 撤収完了

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、中学生、区避難拠点要員、学校避難拠点要員、一般参加者（小中学生、保護者、近隣住民等）

<事前準備>

参加者の募集（小・中学生）

<訓練の協力先>

区民防災課、中学校

<訓練の成果・課題>

- ・中学生の意識向上。
- ・地域住民（小・中学生や保護者以外）をいかに巻き込めるかが今後の課題



上石神井中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

段ボールベッド・間仕切りの自作

<内容>

近年、エコノミークラス症候群の予防やプライバシーの確保の観点から、段ボール製の簡易ベッドや間仕切りが注目されています。練馬区でも、段ボールメーカー（セツカートン株式会社）との協定のもと、物資の調達について計画していますが、これらの製品は家庭や学校の段ボールで自作することができます。上石中拠点では、毎年実施している宿泊訓練のプログラムの一つとして、段ボールベッドと間仕切り、また、併せてゴミ袋と新聞紙の布団を製作しました。

<訓練対象者>

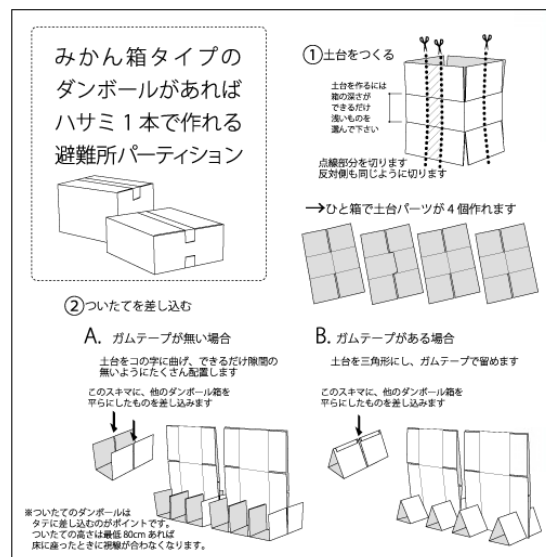
宿泊訓練参加者（連絡会・学校生徒・PTA・区避難拠点要員・学校避難拠点要員ほか）

<訓練の成果・課題>

製作したベッドに寝たり、飛び乗ってみました。若干凹むものの潰れる気配はなく、製品版でなくても、十分な強度を持っていることが確認できました。（なお、今回ベッドの土台部分に使用した箱は、同じ規格のものを10枚購入したものです。）



製作したベッドに寝ている様子



Web で公開されている
間仕切りの作り方

北原小学校避難拠点の訓練事例

子どもから大人まで楽しめる訓練

<内容>

毎年一つのテーマに沿った内容や新しい体験内容を盛り込んだ大きな訓練を行っています。今年度は子どもから大人まで楽しめる訓練として消火器スタンプラリーと搬送体験を行いました。消火器スタンプラリーとは、拠点の構成町会にある街頭消火器をいくつか選び出し、そこを子どもたちに大人と一緒に回ってもらうというものです。もう一方の搬送体験とは、防災会にあるレスキューカーを用いて防災資器材格納庫から避難拠点までを、運ぶ人と運ばれる人に分かれて往復してもらうという訓練です。この二つの体験を今回の新たな試みとして盛り込み、起震車体験や初期消火、バッテリーカー乗車などを行いました。

<訓練スケジュール>

- 10:00 受付開始
- 10:10 体験開始
- 12:00 炊き出し試食（カレー）
- 12:30 訓練終了

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、一般参加者、谷原町会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<事前準備>

配布物など

<訓練協力先>

区民防災課、谷原町会

<訓練の成果・課題>

今回、消火器スタンプラリーや搬送体験の他、谷原町会との共同企画と初めての試みがいくつかあった中で100名ほどの参加者に訓練を体験していただけたのはよかったです。課題としては炊き出し開始のタイミングや広報をもう少し増やすこと、受付の設置場所の確認等があげられました。

関町小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

防災体験学習会

<内容>

地域コミュニティの核となる町会、初期消火や初期救援の防災会、避難所での生活支援、食の安全に取り組む保健相談所など、役割の異なる12団体の協力で防災体験学習会を開催しました。各団体が設置した体験ブースを、子どもから大人までの参加者がスタンプラリー形式でまわり、体験を通じて災害に役立つ知識・技術を学びました

<スケジュール>

- 8:30 物品搬入
- 9:00 全体打合せ・各ブース設営
- 10:00 訓練開始
- 11:30 訓練終了・片付け
- 12:00 完全撤収

<訓練対象者>

一般参加者（小学生、保護者、近隣住民など）

<訓練の協力先>

共催団体：関町南北町会、関町北三丁目町会、わかば公園防災会、関町北二丁目防災会、北裏防災会、関町北三丁目町会防災会、都営練馬関町南4丁目第二アパート自治会防災会

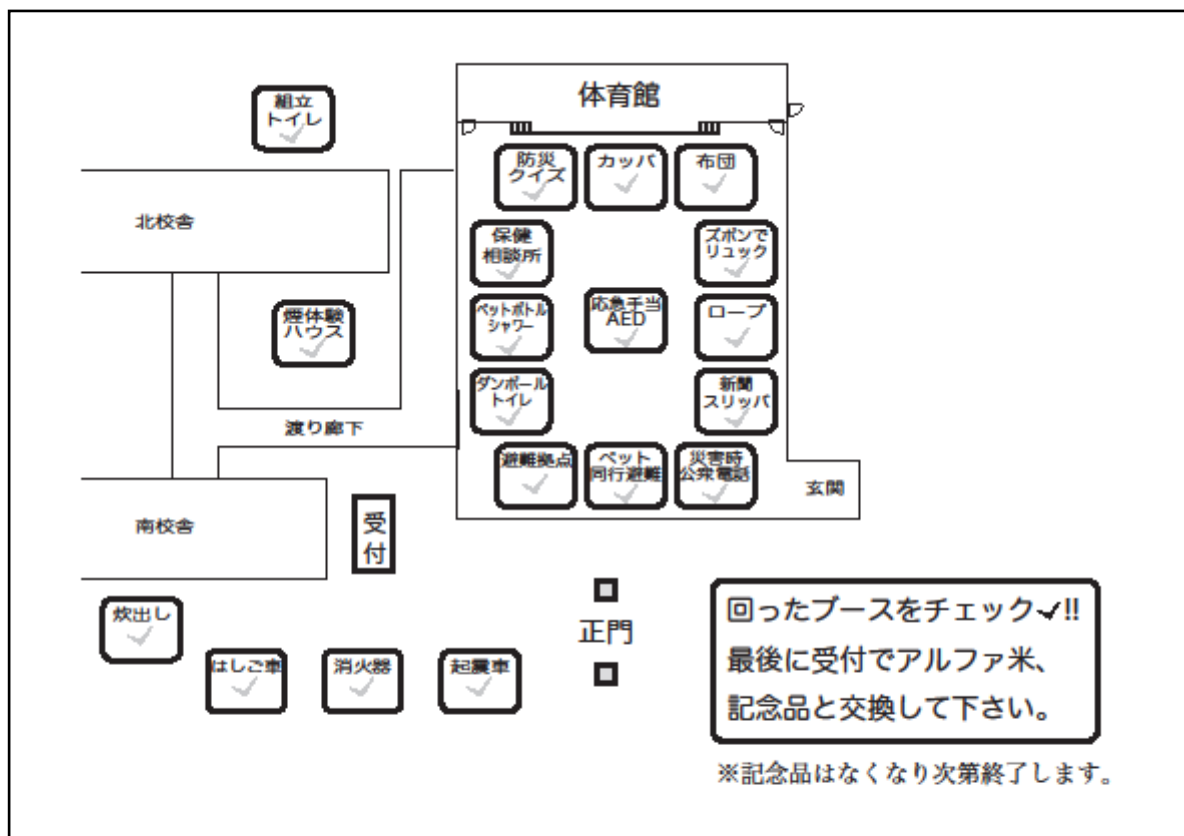
協力先：慈雲堂病院、石神井消防署、練馬区（区民防災課、保健相談所）

<訓練の成果・課題>

- ・参加者の防災意識・知識・技術の向上につながりました
- ・地域の防災組織との連携強化が図れました



【実際に使用したスタンプラリーカード】



田柄小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

昼間・夜間開設訓練

<内容>

昨年度、日中に避難拠点開設訓練を実施したため、今年度は新しく配備した避難拠点開設キットも使用し、同じ開設訓練を夜間に実施しました。

避難拠点開設において必要となる物品や困難さが昼と夜とでどう変わるのか検証しました。また、施設被害状況確認の際には備蓄されているトランシーバーを使用し、速やかな被害状況の把握を検証しました。

<スケジュール>

18：30 集合・訓練開始

19：30 訓練終了

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<事前準備>

校舎内全域に室内状況付与の貼り付け

<訓練の協力先>

区民防災課

<訓練の成果・課題>

昼と夜とでは何をやるにしても明るさが足りませんでした。

体育館からトイレまで等、校内の導線が真っ暗になるので、使い捨てのペンライト等を活用してはどうか、との意見が出ました。

備蓄倉庫の中が暗くて資器材等を取り出すのが大変でした。



貫井中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

宿 泊 訓 練

<内容>

平成30年7月27日（金）から28日（土）にかけて、貫井中学校において宿泊訓練を行いました。

<目的>

- ・発災時に避難者が生活する空間での宿泊体験を通して、避難者に対する理解を深め、また、避難拠点運営の課題を発見する。
- ・避難拠点について知ってもらうことで、地域に暮らす中学生の「助けられる人から助ける人へ」の意識改革を図る。

<スケジュール>

7月27日（金）	7月28日（土）
15：00 受付設置	6：00 起床
15：30 受付	6：45 クラッカー配布（朝食）
15：45 開会式・訓練説明	7：00 訓練の振り返り
15：55 訓練 起震車体験 クロスロードゲーム 各部に分かれての実動訓練	7：20 閉会式
18：50 夕食	7：30 解散
18：20 実動訓練の振り返り	
20：30 講話	
21：00 夜間訓練（校内巡回）	
22：10 就寝	

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員、貫井中生徒（柔道部員40名）

<事前準備>

訓練についての会議 計4回

<訓練の協力先>

区民防災課、貫井中学校

＜訓練の成果・課題＞

- ・ 訓練後のアンケートで 40 名中 32 名の生徒が「また参加したい」と答えており、楽しみながら避難拠点について知ってもらうことができた。
- ・ 今後は柔道部に限らず、より広く生徒に参加を呼び掛けたい。
- ・ 幸い体調不良の参加者は出なかったが、暑い中での訓練であったため、今後は開催時期を検討する必要がある。
- ・ 体育館の区割りに時間がかかることがわかった。通路の設置方法等、今後さらに工夫していきたい。



練馬中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

夜間訓練

<内容>

夜間に発災したと想定し、ライフラインがすべて停止した中で、受付をスムーズに行うにはどうしたらよいか、受付の表示はどうしたらよいかを検証する訓練を実施しました。また、体育館の区割りの検証も併せて行いました。

<スケジュール>

- 18:00 集合・準備
- 18:30 受付訓練開始
- 19:00 体育館区割り検証
- 19:45 意見交換
- 20:00 解散

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<訓練の協力先>

区民防災課、練馬中学校

<訓練の成果・課題>

- ・暗い中での受付訓練は、受付表の記入も困難。また真っ暗な中での校庭での待機は思った以上に長く感じる。寒い時期に発災した時には待機場所も考えなければならない。
- ・課題が見つけたことが、最大の成果。

町会ごとの受付表示



受付表記入



体育館区割り作成



体育館区割り 1 区画



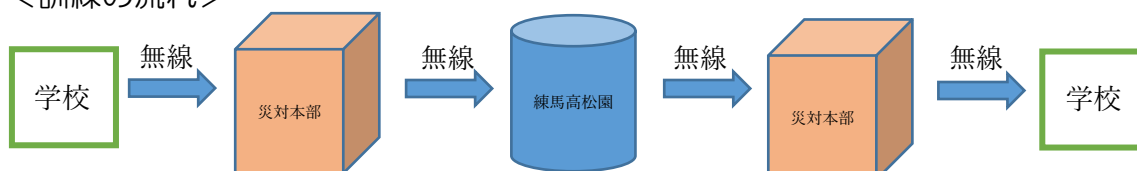
練馬中・高松小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

福祉避難所搬送訓練

<内容>

避難拠点での生活が困難だと避難者からの申し出により、福祉避難所へ移送をするという想定のもと、訓練を行いました。

<訓練の流れ>



<スケジュール>

- 10:00 集合・挨拶
- 10:20 訓練開始
- 11:30 意見交換会
- 12:00 訓練終了・解散

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、練馬高松園、江古田斎場、区避難拠点要員

<搬送手段>

車、担架、車イス

<訓練の協力先>

高松小学校、練馬中学校、練馬高松園

<訓練の成果・課題>

- ・担架搬送は男性4人がかりでも大変であることが分かりました。有事の際は、防災会に貸与しているレスキューカーを使用するなど、対応を考える必要がある事が分かりました。
- ・今回は通所者がいない時間帯の想定で訓練を行ったので、多くの方を受け入れていただきましたが、日中発災した場合受け入れが困難なことも考えておかなければなりません。そのときはどうするのかということも考えておく必要があることが分かりました。
- ・搬送経路の確認ができ、手段によって人員がどの程度必要なのかという共通理解が出来ました。

車イス搬送の様子



担架搬送の様子



福祉避難所での聞き取りの様子



避難者情報の掲示板



意見交換会の様子



光が丘夏の雲小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

宿 泊 訓 練

<内容>

首都直下地震がいつやってくるか？今日かもしれない、明日かもしれないという状況の中で、「避難場所に泊まる」ということがどんなことなのかを体験しました。また宿泊訓練を通して、いろいろな発見をしてもらい、知識や経験の向上を図ることも目的としています。

<スケジュール>

【1日目】

- 14:00 集合・挨拶
- 16:00 受付開始
- 17:00 訓練開始（バケツリレーと発電機動作）
- 18:30 夕食開始
- 19:15 応急救護訓練（三角巾）と煙体験訓練
- 20:00 探検ラリー
- 21:30 就寝

【2日目】

- 6:00 起床
- 6:30 ラジオ体操
- 7:00 朝食
- 8:00 解散

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、一般参加者、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<訓練の協力先>

区民防災課、光が丘夏の雲小学校

<訓練の成果・課題>

- ・訓練参加者からは、普段では経験することができないことを学べて非常に為になったとの意見をいただきました。
- ・子供たちの参加が多いのですが、子供たちをお客様ではなくスタッフとして参加させたいという学校の要望もあり、毛布・寝袋の配給、食事の配食等の運営側の仕事をしてもらいました。
- ・PTAの参加も多くあり、地域の防災に対する意識が高まっている。

受付の様子



バケツリレー



発電機動作訓練



夕食の配食



体育館毛布配給



探検ラリー



光が丘夏の雲小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

設備防災協力会訓練

<内容>

区と練馬区設備防災協力会は、避難拠点の設備応急点検・修理などについて防災協定を締結しています。

今年度は光が丘夏の雲小学校避難拠点において練馬区設備防災協力会作成の「行動マニュアル」に沿った行動訓練を行い、避難拠点運営連絡会も参加しました。

<スケジュール>

9:30 集合

9:40 挨拶および訓練内容の確認（視聴覚室）

10:00 訓練開始

- ・避難所開設状況の確認
- ・練馬区設備防災協力会基地局へ連絡
- ・区職員との接見
- ・現場状況の確認（屋上高置水槽、4階～1階のトイレ）

11:30 質疑応答・意見交換

11:50 終了あいさつ

12:00 解散

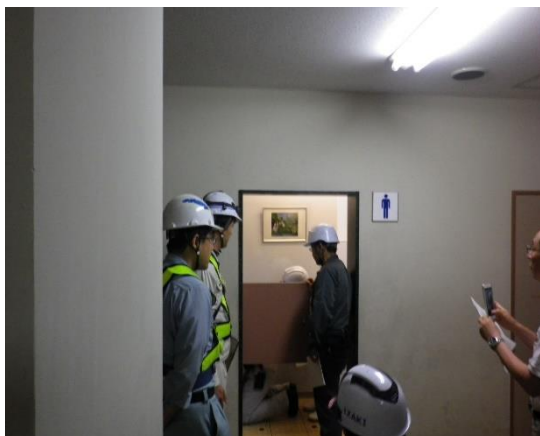
<訓練対象者>

練馬区設備防災協力会、避難拠点運営連絡会、区職員

<訓練の協力先>

区民防災課、光が丘夏の雲小学校

トイレパイプシャフト内配管点検



トイレからの排水管の破損状況点検



光が丘第一中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

近隣防災会と協力した避難者受け入れ訓練

<内容>

避難拠点運営連絡会の構成防災会である、大通り北団地管理組合防災会の防災訓練日程と避難拠点運営連絡会の訓練日を同日、同時刻に開催するように調整し、防災会にとっては避難拠点への避難訓練と避難拠点について理解を深めていただき、避難拠点運営連絡会では避難者の受付訓練、受付場所から体育館までの誘導訓練をはじめ、避難者役である地域住民あてに避難拠点での生活や備蓄物資等について紹介しました。

<スケジュール>

- 8:30 集合・挨拶
- 9:30 訓練開始
- 11:00 訓練終了
- 11:10 講評
- 11:30 片付け・撤収

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、一般参加者、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<事前準備>

地域の防災会の訓練実施予定の調整

<訓練の協力先>

区民防災課 大通り北団地管理組合防災会

<訓練の成果・課題>

受付場所から体育館まで単純なルートではあるが、案内表示が必要であることがわかった。

小さな段差でもつまずく方がいたため、施設に慣れていない方の視点に立った危険場所の表示が必要であることがわかった。



光が丘第三中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

夜間訓練

<内容>

夜間に発災したと想定し、ライフラインがすべて停止した中で、①光三中への参集をするのに何が必要か②参集した人たちが暗い中で開設の準備をするのに何が必要なのかを検証する訓練しました。また、避難拠点開設キットを使用し開設までの手順の確認も併せて行いました。

<スケジュール>

- 19:00 集合・説明
- 19:10 訓練開始
- 20:30 訓練終了
- 20:40 片付け・撤収

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<訓練の協力先>

区民防災課、光が丘第三中学校

<訓練の成果・課題>

- ・暗い中での施設の点検は、日中の明るい時に比べ、亀裂等の確認や使用できるかどうかの判断が難しいことが分かりました。また経年で劣化している内外壁はすでに亀裂のようなものが入っていて、地震での亀裂なのかどうかに迷うことがありました。
- ・過去の訓練においての経験から倉庫内に人感センサーのライトを取り付け、明るい中での作業ができるようにした。

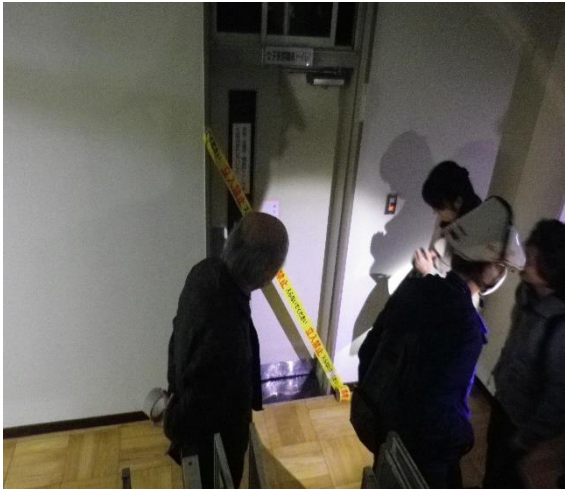
開設キットを使用し外観点検



内観・外観点検後の報告



使用禁止のトイレ表示



開設後の受付



光が丘春の風小・光が丘第二中学校避難拠点の訓練事例

防災体験会

<内容>

毎年10月の第四日曜日に防災体験会を開催しています。今年度は4つの体験コーナーに分け、救命救急体験、避難所生活体験、水周り体験、災害時体験とバラエティに富んだ内容としました。なかでも今回はトイレとペットについて力を入れており、トイレ使用時の約束事の周知徹底、ペットは同行避難の対応を始めたことの周知及び日本救助犬協会によるデモンストレーションなどを行いました。

<訓練スケジュール>

- 10:40 受付開始
- 11:10 体育館にて学校関係者・会長・消防署挨拶
- 11:25 コーナー体験開始
- 13:05 炊き出し試食（肉無し豚汁と五目おにぎり）
- 13:25 日本救助犬協会によるデモンストレーション
- 14:00 スタッフ・中学生ボランティア紹介 アンケート回収&お土産配布

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、一般参加者、光が丘第二中生徒、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<訓練協力先>

区民防災課

<訓練の成果・課題>

トイレやAED、災害用伝言ダイヤルが勉強になったなど多くの方に好評だった一方で訓練のコーナー体験の時間が過密だったため、体験者にとっては大変になってしまいました。また受付後に参加者がどこにいったらいいか迷う場面もあったため誘導の仕方は今後の課題です。他に物品が行方不明になったりすることもあったため、こういった大きな訓練を行う際には管理の徹底を行う必要あると感じました。



豊溪小学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

ペット同行避難訓練

<内容>

ペット同行避難について机上で検討を重ねてきたが、実際のペットに参加してもらい、一連の流れを検証した。受付者を避難拠点のメンバーで行うことはもちろん、地域のわんわんパトロール隊にも協力をしてもらい、ペットに精通した者からの視点で教授を受けた。

<スケジュール>

- 9:00 集合・挨拶
- 9:30 受付開始
- 10:00 訓練開始
- 11:30 訓練終了
- 12:00 片付け・撤収

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、土支田わんわんパトロール隊、一般参加者、区避難拠点要員

<訓練の協力先>

豊溪小学校、土支田わんわんパトロール隊、区民防災課

<訓練の成果・課題> - 訓練に参加したペット 19 頭 -

机上で検討をすることも大事ですが、実際のペットに参加をしてもらうことにより、スペースの問題や、体育館との距離の問題、ケージに慣れていないペットの対応など様々な問題がでました。実際には人を最優先に考えなければならぬのですが、飼い主からすると家族なので雨ざらしの場所を設定するのはどうなのか？様々な問題が出たこともありましたが、問題が出たことにより検討する幅が広がったことは成果といえます。

【参考】

訓練終了後にアンケートに協力をしてもらいました。設問としては①防災グッズの用意はしていますか？②「同行避難」と「同伴避難」の違いを知っていますか？練馬区の方針で同行避難を掲げているが知っていますか？3点について聞いた結果・・・

- | | | |
|--------------------|---------|----------|
| ①防災グッズの用意は？ | している 3 | していない 16 |
| ②「同行避難」と「同伴避難」の違い？ | 知っている 5 | 知らない 14 |
| ③練馬区の方針を知っている？ | 知っている 5 | 知らない 14 |

受付の様子



ペット台帳記載所



ケージでの様子



リードでの様子



南町小学校防災委員会の訓練事例

救援物資受け入れ訓練

<内容>

区は、災害時における救援物資の輸送などについて、一般社団法人東京都トラック協会練馬支部と協定を締結しています。

南町小学校防災委員会では、一般社団法人東京都トラック協会練馬支部と合同で、救援物資の受け入れ訓練を行いました。南町小学校では視聴覚室を救援物資の保管場所としており、トラックで輸送した物資の受け入れを行い、訓練参加者の皆さんに見学して頂きました。また、訓練当日は避難拠点開設訓練も行い、避難者の受付や応急救護なども体験して頂きました。

<スケジュール>

- 8：30 集合・準備
- 10：20 避難拠点開設訓練 開始
- 10：30 救援物資輸送・受け入れ訓練 実施
- 12：30 訓練終了
- 13：00 講評・片付け
- 14：00 終了

<訓練対象者>

一般参加者、避難拠点運営連絡会、一般社団法人東京都トラック協会練馬支部、区避難拠点要員、学校避難拠点要員

<訓練の成果・課題>

拠点開設後に、救援物資の輸送があったという想定での訓練を行うことができ、学校敷地内の搬入ルート等も確認することができました。



八坂小学校・八坂中学校避難拠点運営連絡会の訓練事例

複数拠点の連絡会が参加する HUG 訓練

<内容>

八坂小学校と八坂中学校は隣接した学校であり、日ごろから避難拠点運営連絡会の活動も一緒に行うことで、いざという時はどちらの拠点でも活動ができるよう、両拠点のメンバーと一緒に避難所開設訓練および避難所運営図上訓練を実施しました。

<スケジュール>

10:00 集合・挨拶
10:15 訓練開始
11:30 訓練終了・マニュアルの検討・反省
12:00 解散

<訓練対象者>

避難拠点運営連絡会、区避難拠点要員

<事前準備>

訓練用開設キットの作成
校舎内全域に室内状況付与の貼り付け
HUG 用物品の準備

<訓練の協力先>

区民防災課

<訓練の成果・課題>

八坂小での実施だったが、八坂中としても似通った課題が見つかりました。八坂小は体育館が3階にあるため、要援護者の居住スペースを考えるにあたっては、やはり八坂中との協力が必要である認識を強くしました。

【訓練等についてご相談・お問い合わせは】

区民防災課へ

区民防災第一係（練馬地域）03-5984-2601

区民防災第二係（石神井・大泉地域）03-5984-2605

区民防災第三係（光が丘地域）03-5984-4504